



カムイスキーリンクス 管理運営計画

令和7年12月
旭川市



目 次

第 1 章 計画の概要

- 1 計画策定の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第 2 章 リンクスの現状

- 1 施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 運営状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 3 これまでの取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第 3 章 リンクスに求められる役割・機能

- 1 交流人口増をもたらす体験型観光の拠点としての機能・・・・・・・・ 1 2
- 2 競技力向上に向けたスノースポーツの競技拠点としての機能・・・・・・・・ 1 4
- 3 長く愛され続ける市民スキー場としての役割・・・・・・・・ 1 5

第 4 章 施設改修計画

- 1 改修計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 7
- 2 地方債の償還計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 8

第 5 章 経営計画

- 収支の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 9

（参考）計画策定に向けた各種調査結果

- 1 委託調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 1
- 2 利用者アンケートの結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 3
- 3 関係者への聞取・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 1



第 1 章 計画の概要

1 計画策定の背景

カムイスキーリンクス（以下「リンクス」という。）は、昭和初期に「国設神居山スキー場」として開設され、昭和 59 年には名称を「カムイスキーリンクス」に改め、以降、40 年間にわたり運営されています。

開設以来、長年にわたって多くのスキーヤー、スノーボーダーに親しまれ、市民の心身の健全な発達やスポーツの振興といった本市のまちづくりにも不可欠な施設となっています。また、近年ではインバウンド利用者の増加や体験型観光のニーズ拡大を背景に、冬季観光拠点施設として地域経済の活性化にも重要な役割を果たしています。

その一方で、築後 40 年以上を経過している施設の老朽化や狭あい化といった課題が顕在化しており、来場者の安全性や利便性の向上を図るためにも、できるだけ早期の施設改修や更新に着手することが必要です。

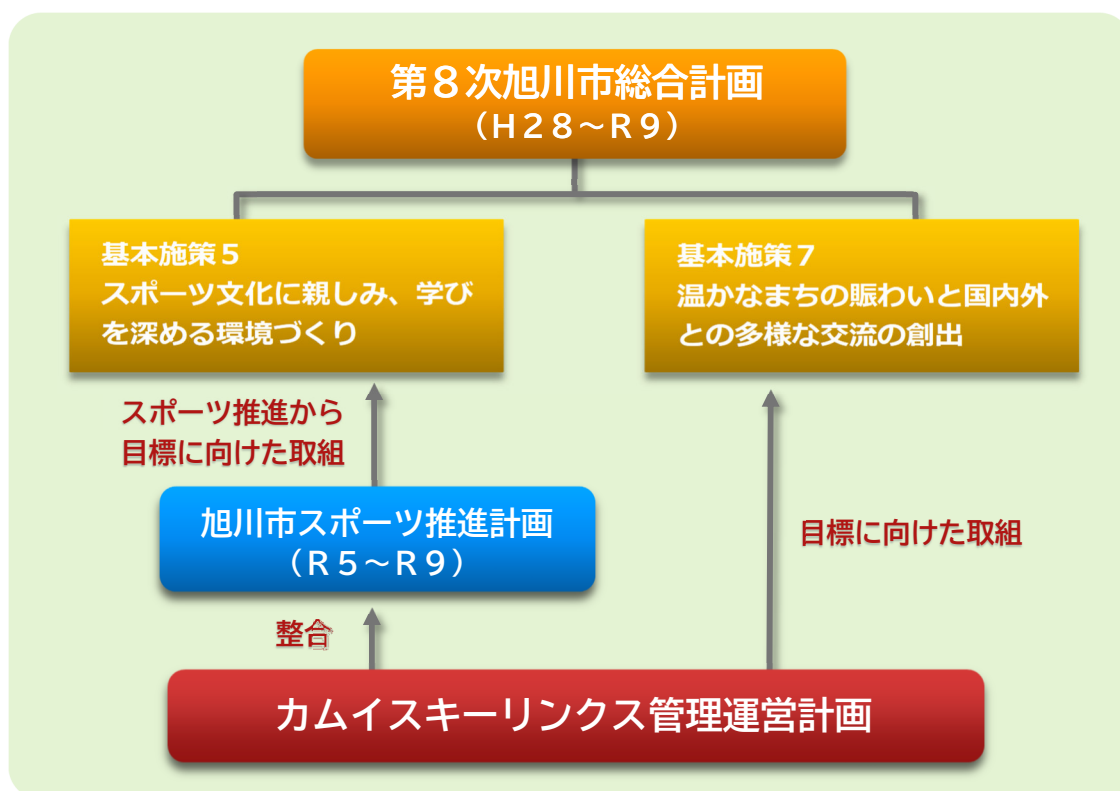
今後、適切かつ計画的に施設改修を進めるためには、スキー人口の減少やインバウンド利用者の増加といったリンクスを取り巻く環境の変化を踏まえながら、リンクスに求められる役割や機能を改めて整理した上で、多様化するニーズに対応したサービスの充実を図るなど、来場者や収益の確保に向けた取組を推進することが重要です。

こうしたことを踏まえ、リンクスが安定した経営基盤を確立し、今後も長期にわたり、その役割を果たしていくための事業計画を定める「カムイスキーリンクス管理運営基本計画」を策定します。



2 計画の位置付け

リンクスはスキーやスノーボードを中心としたスノースポーツ施設としての側面や冬季観光資源としての側面を有しているため、本計画は第8次旭川市総合計画の基本政策である「スポーツや文化に親しみ、学びを深める環境づくり」や「温かなまちの賑わいと国内外との多様な交流の創出」、旭川市スポーツ推進計画が掲げる施策の推進を目指しながら、求められる役割や整備計画等、今後のリンクスの方向性を定める計画として位置付けられます。



3 計画期間

本計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とし、随時見直しを行い、附属機関であるスポーツ推進審議会で進捗状況の管理や評価を行います。



第2章 リンクスの現状

1 施設概要

〈 基本情報 〉

○所 在 地：旭川市神居町西丘

○設置年月日：昭和59年12月18日

○敷地面積：約166ha（市有地：約79ha 国有地：約87ha）

○標 高：山頂751m / 山麓150m / 標高差601m

○リフト数：ゴンドラリフト1基 / ペアリフト5基

○コース数：全26コース（うちFIS公認コース3本）

○総滑走距離：24,700m

○斜 度：平均斜度18% / 最大斜度35%

○開設期間：12月1日から翌年の3月31日まで

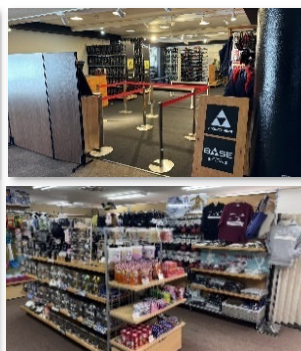
○開設時間：午前9時から午後5時（スキーリフトは午後4時）まで



〈 主な建築物 〉

○センターハウス

建 設 年	昭和59年
延床面積	2,352.72㎡
構造階数	RC造3階建
機能設備	券売所 / レンタルショップ / 売店 / レストラン / ロッカー室 コンシェルジュデスク / 特別室
改修履歴	平成30年度：温風暖房機更新 外部階段及び自動ドア改修 令和元年度：外壁及び屋根改修 令和3年度：地下重油タンクの内面防食及び給油設備改修 高圧ケーブル・受変電盤改修 令和4年度：給湯ボイラー取替 令和5年度：1階照明LED化 令和6年度：トイレ多目的化改修、特別室改修



○レストハウス（ラーメンハウス）

建 設 年	昭和61年
延床面積	287.01㎡
構造階数	S造平屋建
機能設備	レストラン（ラーメン屋）
改修履歴	令和6年度：外壁改修



○山頂レストハウス

建 設 年	昭和60年
延床面積	460.24㎡
構造階数	S造一部RC造2階建
機能設備	レストラン
改修履歴	平成30年：機械設備・電気設備・暖房設備更新 トイレ・ホール・階段改修 令和元年：外壁・屋根・内部改修 機械設備・電気設備改修

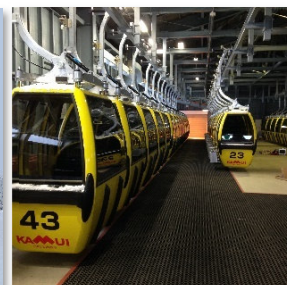


○受電室・污水处理室

建 設 年	昭和60年
延床面積	63.85㎡
構造階数	S造一部RC造平屋建
機能設備	受変電設備 / 浄化槽設備
改修履歴	平成25年：浄化槽設備改修 平成27年：屋内受変電盤更新 令和2年：浄化槽散気管・自動制御盤更新

○ゴンドラ駅舎

建 設 年	昭和60年
延床面積	1,254.37㎡
構造階数	RC造一部S造2階建
機能設備	ゴンドラリフト停留場
改修履歴	令和3年：屋根・外壁改修、電気設備工事



〈 索道設備 〉

○ゴンドラリフト

改修年度	平成26年度
全 長	2,327.52m
搬 器 数	87台

○第1ペアリフト

改修年度	平成27年度
全 長	833.87m
搬 器 数	140台

○第2ペアリフト

改修年度	平成28年度
全 長	974.55m
搬 器 数	142台

○第3ペアリフト

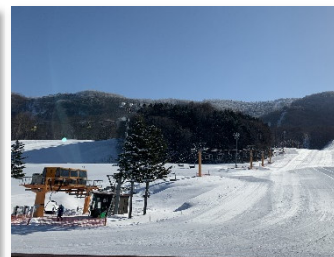
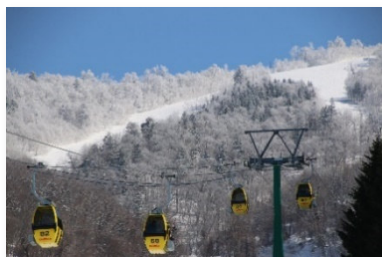
改修年度	平成29年度
全 長	636.83m
搬 器 数	62台

○第4ペアリフト

改修年度	平成27年度
全 長	754.26m
搬 器 数	140台

○第5ペアリフト

改修年度	令和8年度予定
全 長	999.61m
搬 器 数	145台



〈 圧雪車 〉

○ケースボーラー社

型 式	ピステンブーリー 400Park
台 数	2台
年 式	平成25年
走行時間	

○大原鉄工所

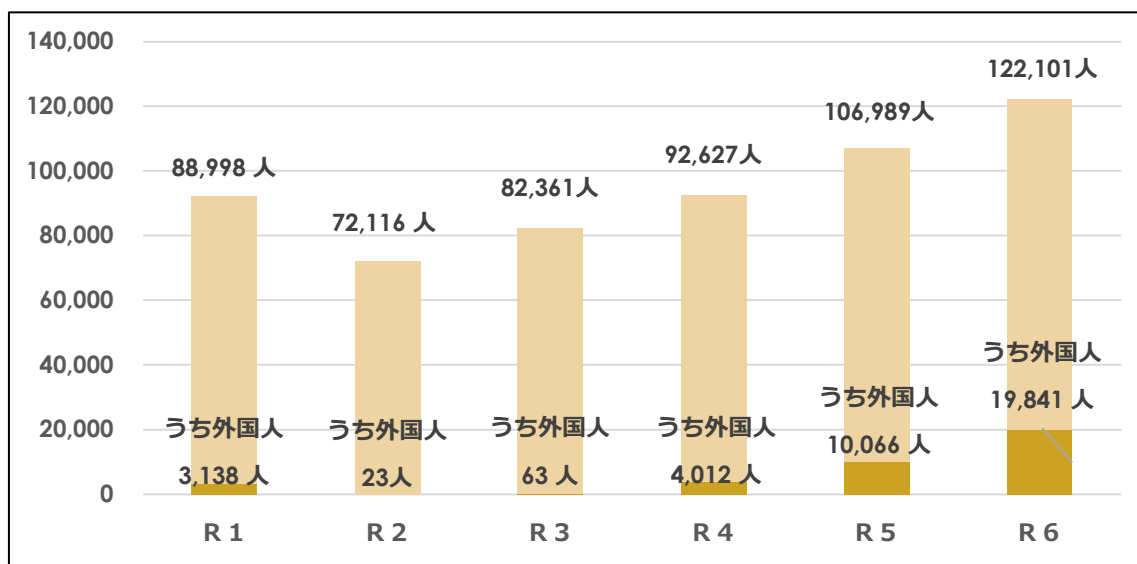
型 式	DF430
台 数	2台
納車年度	平成30年
走行時間	



2 運営状況

一般社団法人大雪カムイミントラDMO（以下「DMO」という。）が指定管理者となった令和元年度から令和6年度までの運営状況は次のとおりです。

（1）来場者数の推移



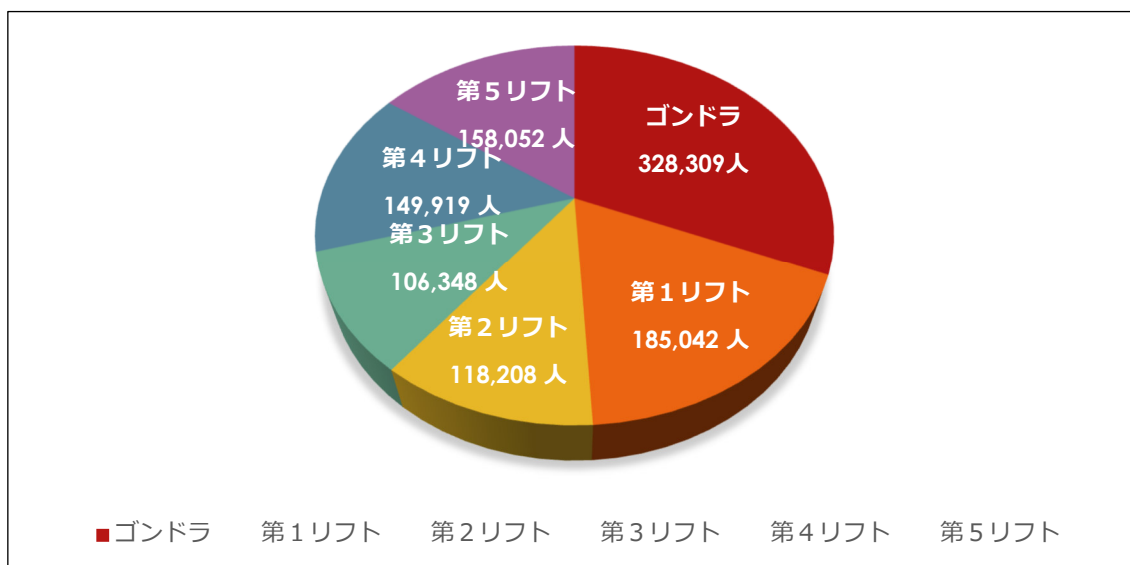
新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の流行に伴うロックダウン等の影響により、インバウンド利用者を中心に来場者数が減少し、令和2年度シーズンは7万人台まで落ち込みましたが、令和3年度以降は増加に転じています。

新型コロナが5類感染症へ移行した令和5年度は来場者数が10万人を越え、令和6年度は、平成30年度にDMOが指定管理者となって以来、最高値を更新しています。

特に近年は、インバウンド利用者の増加が顕著であり、令和6年度には全体に占めるインバウンド利用者の割合は16%越えました。

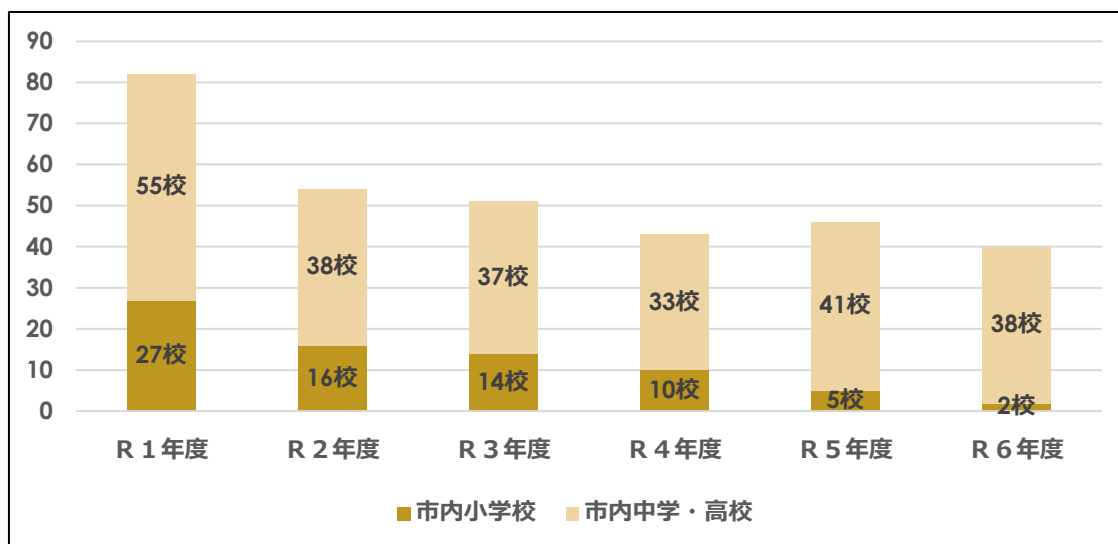


(2) 索道別利用者数 (R 6 年度)



令和6年度の索道利用者数は、ゴンドラリフトが328,309人と最も多くなっています。また、5基設置されているペアリフトのうち、センターハウスからのアクセスが良く、競技用コースへの動線としても利便性の高い第1ペアリフトの利用が最も多い結果となり、次いで、未圧雪コースや急斜面コースが多く設けられている第5ペアリフトが、上級者やインバウンド利用者から高い評価を得ていることから、利用が多くなっています。

(3) 市内利用学校数 (小・中・高校)



昨今の人件費や燃料費の高騰によるバス輸送費の上昇等により、スキー学習で利用する学校数は年々減少傾向にあります。

令和6年度の市内小学校の利用校数は、令和元年度から93%減少し、同様に中学校・高等学校も30%の減少となっています。

(4) 指定管理事業における索道事業と自主事業の収支

指定管理者が行うリフトやゴンドラの運営に係る索道事業とシャトルバス運行等、利用者増に向けて行う自主事業の収支は赤字が常態化しており、特に令和5年度は人件費や光熱水費の高騰により赤字額は大幅に拡大しましたが、R6年度は来場者数の増加やリフト利用料金の見直しにより、黒字に転じました。

(円)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	151,696,607	173,008,511	209,717,718	274,958,997	429,500,964
支 出	162,453,543	184,965,428	221,020,457	298,755,773	375,454,394
収 支	△10,756,936	△11,956,917	△11,302,739	△23,796,776	54,046,570

3 これまでの取組

これまでに実施してきた主な取組は以下のとおりです。

(1) サービスの向上

ア ICゲートの導入

ゴンドラ・リフト乗り場へのICカード対応型のゲート導入により乗車を効率化

イ ピックアップボックスの導入

WEBで購入したリフト券を事前に受け取れるピックアップボックスをセンターハウスのほか、市内宿泊施設等に設置し、リフト券売り場の混雑を緩和

〈主な設置場所〉

OMO7旭川 / アートホテル旭川 /
ホテルWBFグランデ / 旭川トーヨーホテル
ホテルウィングインターナショナル旭川駅前
※今後さらに拡大予定



ウ キャッシュレスへの対応

センターハウス等のレストラン・売店に新紙幣及びキャッシュレスに対応した券売システムを導入



エ 2次交通の確保

旭川市内をはじめ、旭川空港や札幌市とリンクスを結ぶバス路線を確保

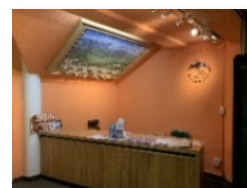
〈現在の路線〉

- 旭川市内便
- 旭川空港便
- 札幌便



オ 多言語化への対応

コンシェルジュデスクに英語・中国語対応スタッフが常駐し、インバウンド利用者に対応するほか、レンタルコーナーに外国語対応が可能な人材を起用



カ 施設のバリアフリー化

誰もが利用しやすい施設を目指し、バリアフリー環境の整備を推進

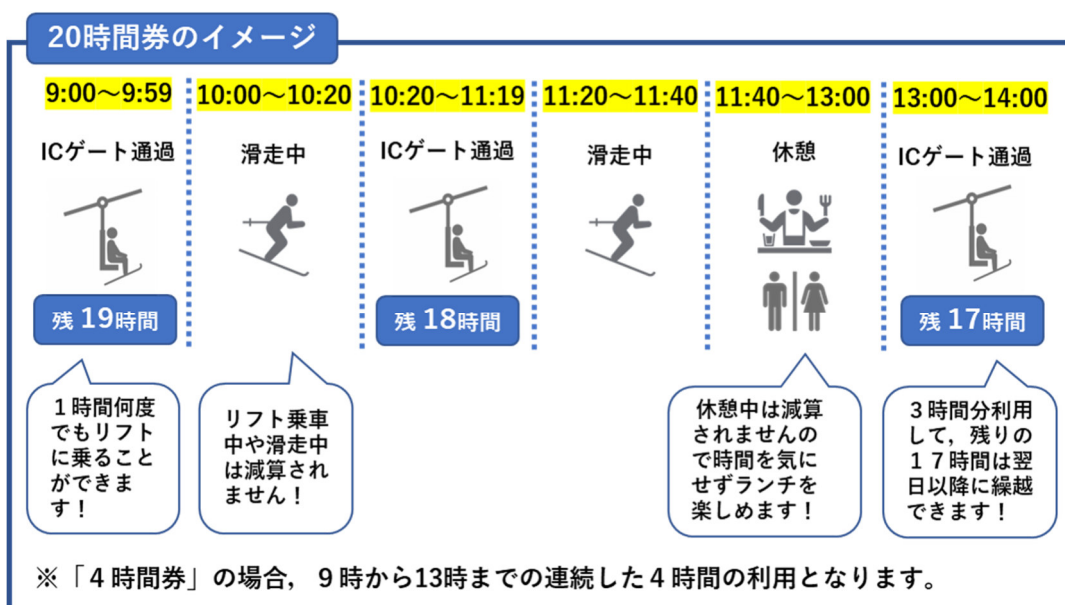
〈現在の整備状況〉

- 多目的トイレの設置
- 障がい者専用駐車場の設置
- 車イス対応スロープの設置



キ 地域住民向けリフト券の導入

市民や近隣市町村利用しやすいようシーズン券への市民割引やシーズン中に日付をまたいで利用できる「20時間券」を導入



(2) 大会・合宿の誘致

リンクスは多様なコースを有する環境であることから、毎年多くの大会が開催されているほか、香港スキー連盟をはじめ、国内外から多くの合宿を受け入れています。

〈過去の大会〉

- 全日本スキー選手権大会
- 全日本学生スキー選手権大会
- 第44回北海道障害者冬季スポーツ大会 ほか

〈合宿実績〉

(チーム/人)

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
チーム数	286	319	496	308	371
人 数	3,493	5,509	5,719	5,021	5,807



(3) グリーンシーズンの取組

冬季のみではなく、夏季にもリンクスの敷地を利用したイベントを開催しています。

〈これまでに開催した夏季イベント〉

- ゴンドライド (紅葉シーズンのゴンドラ運行、神居山山頂の展望台設置)
- ドリフトチャレンジ (駐車場スペースを貸与し実施されるドリフトイベント)
- グラススキー (雪のないゲレンデ斜面を専用のスキーで滑るスポーツ) ほか

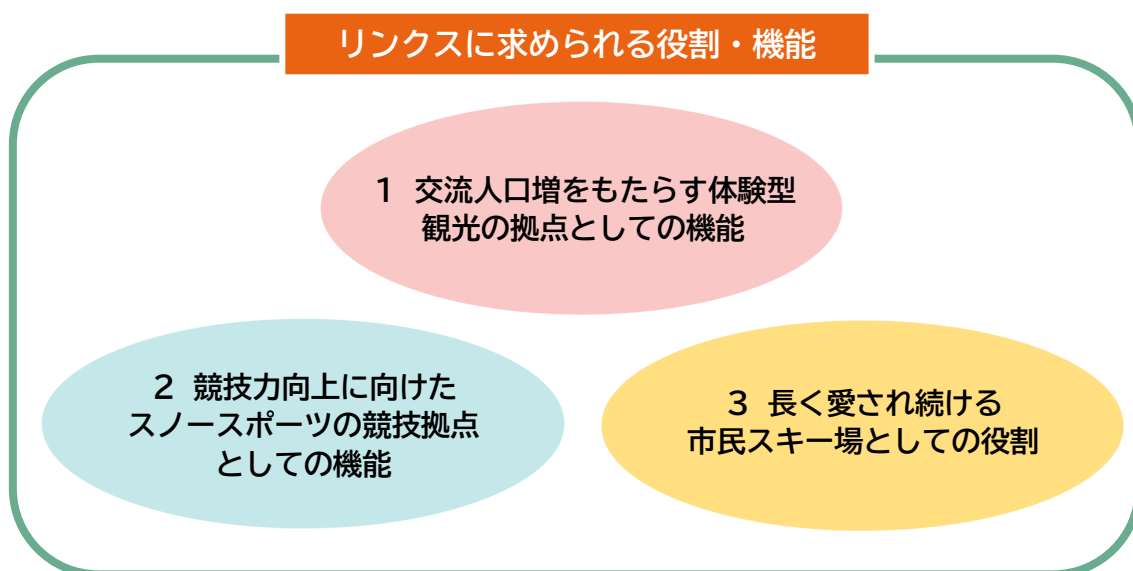


第3章 リンクスに求められる役割・機能

リンクスは、道北最大級かつ都市近郊型スキー場としての利点を活かし、国内外から毎年多くの利用者を受け入れており、本市の冬季観光施策にとって重要な役割を果たしています。また、全国・全道規模の大会開催や合宿誘致の実績が多数あり、スポーツ振興にとっても欠かせない施設であること、さらには、初級者から上級者まで幅広いニーズに応えることができる多彩なコースを有し、小さな子供連れの家族やシニアの方にも御利用いただき、地域の皆様からも長年にわたって親しまれてきた歴史ある施設です。

こうしたことを踏まえ、リンクスがこれからも果たしていかなければならない役割や維持すべき機能について次のとおり整理します。

これらの役割や機能を強化し、来場者数の確保を通じたより安定的な経営基盤の確立を目指すため、今後の取組を検討します。



1 交流人口増をもたらす体験型観光の拠点としての機能

リンクスは、市内中心部から車でおよそ30分程度という好立地にあることから、中心部に滞在する観光客にとっては、地元のグルメを堪能したり、旭山動物園の見学などと合わせてスキーを楽しむことができることが大きな魅力の一つとなっています。このため、市内宿泊施設と結ぶシャトルバスの運行やWEB購入の方が事前にリフト券を入手できるピックアップボックスを市内宿泊施設に設置するなど、都市型スノーリゾートの魅力向上に取り組んできました。

今後も、こうした取組の充実を図るとともに、利用者の増加に伴い、多様化するニーズへの対応を検討していきます。

今後の取組

ア アクセス性の向上

現在の市内中心部とリンクスとを結ぶバス路線は次のとおりです。

【往路（市内⇒リンクス）】

始発 7:50発 / 最終 10:20発

【復路（リンクス⇒市内）】

始発 14:20発 / 最終 16:40発

※各1日6便運行



利用者の増加に伴い、往路第1便の混雑が課題となっています。

今後は、増便のほか短時間の利用を希望される方や午後のみスキーを楽しみたいという方のニーズに応えるため、指定管理者やバス運行会社と連携し、運行スケジュールの検討等、アクセス向上に向けた取組を進めます。

イ 都市型スノーリゾートの推進

都市型スノーリゾート推進にあたっては、市内宿泊施設や旅行代理店との連携強化が不可欠です。

現在、市内5か所の宿泊施設において、WEB購入者向けのリフト券を発券できるピックアップボックスを設置し、宿泊者の利便向上を図っています。今後はさらにピックアップボックス設置拡大の検討を進め、より一層の宿泊者の利便性向上に向け取り組みます。

また、リフト券付き宿泊パッケージの拡充をはじめ、「日中はリンクスでスノースポーツを楽しみ、夜は市内中心部で飲食・宿泊を楽しむ」といった、滞在型観光の促進を図ることで、スキー場と都市機能を組み合わせた都市型スノーリゾートの実現を目指します。

ウ レンタル事業の充実

主にインバウンド利用者に多くのニーズがあるスキー用具のレンタル事業は、現在、指定管理者の自主事業としてサービスを提供しています。用具は4年ごとに更新し、常に最新のものを提供し好評を得ていますが、貸出スペースが混雑し、狭あい化していることから、スペースの拡張や移転を視野に入れ、今後更なる利便性の向上を目指します。

2 競技力向上に向けたスノースポーツの競技拠点としての機能

リンクスは、天然雪が豊富で、F I S 公認コースを含む多彩なコースレイアウトを有することから、毎年多くのスキー合宿を受け入れているほか、全道・全国規模の大会を数多く誘致しています。

今後もより多くのスキーマー、スノーボーダーに良好な練習環境を提供するとともに、積極的に大会を誘致することを通じて、地域の競技力向上や競技人口の増加を図り、リンクスから将来有望なスキーマー、スノーボーダーを輩出していけるような取組が重要と考えています。

今後の取組

ア コース整備の促進

現在、リンクスには26コースが整備されており、そのうち競技向けにデザインされたF I S 及びS A J 公認コースは3コースとなっています。今後も地元競技団体と連携しながら、公認コースの維持管理に努め、実践的な練習環境の提供及び大会の利用促進を目指していきます。

イ 圧雪車の計画的な更新

迅速かつ適切なコース整備が求められる競技大会の開催には、圧雪車の適正な配備が必要不可欠です。このため、将来にわたってリンクスが、スノースポーツの競技拠点としての機能を維持するためには、現在4台所有している圧雪車の定期的な更新が必要となります。

一方で、更新費用は高額となるため、耐用年数や財源を踏まえた更新計画を第4章にて後述します。



3 長く愛され続ける市民スキー場としての役割

インバウンド利用者が増加しているとはいえ、リンクスのメインユーザーは地域住民であり、コロナ渦においても多くの地域住民の皆様を支えられてきました。今後もより多く利用いただけるような取組を進めることが重要であると考えていることから、令和6年度の料金改正では、シーズン券への市民割引導入や20時間券の新設、小学生料金・スキー学習料金を据え置きにするなど、地域の皆様に利用しやすい料金体系を検討してきたところです。

今後も市民をはじめ、多くの方が安全で快適に利用できるように施設整備、サービスの向上を検討します。

今後の取組

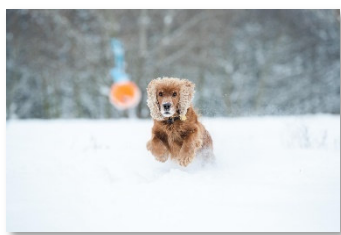
ア 休憩スペースの確保

利用者の増加に伴い、令和5年度にはレンタルスペースの拡張を行った結果、センターハウス内に設けていた休憩スペースが廃止されることとなりました。これにより、学校授業やスキースクールに通う地元の子供たちをはじめ、地元利用者が十分に休憩できる環境が確保されていない状況となっています。

利用者へのアンケート結果からも休憩所の設置に関する要望が多く寄せられていることから、今後、新たな休憩スペースの設置について検討します。

イ 新たなサービスの提供

リンクスが有する豊富で良質な雪や広大な敷地を活用しながら、スキーやスノーボードを行わない市民の皆様も楽しめるよう、雪上ドッグランや雪上ジップライン、スノートレッキング等のリンクスの新たな楽しみ方を検討します。



ウ 小中学生を対象とした利用促進事業

少子高齢化に伴い、全国的にスキー人口が減少傾向にあることから、競技人口の拡大もリンクスに求められる役割の一つとして捉えています。このため、雪国で育つ子供たちにスノースポーツを楽しんでいただくきっかけ作りの一環として、ウェアのリユース事業や、小中学生を対象とした無料チケットの配布、サービスデーの設定等を検討します。

エ 更なるバリアフリー化へ向けた取組

施設のバリアフリー化が段階的に進められているものの、設置から40年以上が経過した施設には不便な箇所が多く残されています。旭川市スポーツ推進計画の中にも記載されているとおり、障がいのある方でも利用しやすいよう、施設のアクセシビリティを向上させることは、本市にとって重要な施策の一つです。

障がいの有無に関わらず、誰もが利用しやすい施設を目指すとともに、パラスポーツの推進に向けた施設整備を検討します。



バリアフリー化の一例（階段昇降機）

第 4 章 施設改修計画

建物・索道の経年劣化等による計画修繕及び改修については、指定管理者と締結している基本協定書に基づき、旭川市が実施します。

実施に当たっては、利用者への影響や老朽化の進行を踏まえ、優先順位を付けることで、各年度の事業費の平準化を図るほか、交付税措置がある有利な地方債を活用するなど、一般会計への影響が少なくなるよう計画します。

改修計画

(千円)

	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度	R 1 1 年度
センターハウス		休憩所 100,000	建築・電気・機械 629,058	
レストハウス	厨房 10,000			
山頂レストハウス				建築・電気・機械 109,795
ゴンドラ		オーバーホール 70,400	オーバーホール 45,320	
第1リフト				オーバーホール 40,480
第2リフト		R 1 2以降にオーバーホール実施予定		
第3リフト		R 1 3以降にオーバーホール実施予定		
第4リフト				オーバーホール 40,480
第5リフト	設備工事 595,100			
圧雪車		更新(2台) 120,000	R 1 4以降に2台更新予定	
合計事業費	605,100	290,400	674,378	190,755
うち地方債	544,500	261,300	606,900	171,600
うち一般財源	60,600	29,100	67,478	19,155

※指定管理者が整備するものは除く

地方債の償還計画

施設改修を計画どおりに進めた場合の地方債の償還スケジュールは次のとおりです。

毎年度、元利償還金を返済していくためには、安定的な施設運営を通じた、自立的な経営基盤の確保が重要となります。

(千円)

年度	センターハウス		レストハウス	山頂レストハウス	ゴンドラ		第1リフト	第4リフト	第5リフト	圧雪車	合計
	R9	R10	R8	R11	R9	R10	R11	R11	R8	R9	
R8			128						467		595
R9	180		486		163				28,875	192	29,896
R10	4,854	487	485		3,414	148			28,837	21,734	59,959
R11	4,848	30,523	485	185	3,409	2,197	145	145	28,800	21,706	92,443
R12	4,842	30,488	484	5,328	3,405	2,194	1,963	1,963	28,767	21,678	101,112
R13	4,835	30,443	484	5,320	3,401	2,191	1,961	1,961	28,725	21,650	100,971
R14	4,829	30,407	483	5,314	3,396	2,188	1,958	1,958	28,690	21,622	100,845
R15	4,823	30,368	482	5,307	3,392	2,186	1,956	1,956	28,654		79,125
R16	4,817	30,329	482	5,300	3,388	2,183	1,953	1,953	28,617		79,022
R17	4,811	30,295	481	5,294	3,384	2,180	1,951	1,951	28,584		78,931
R18	4,805	30,250	527	5,286	3,379	2,177	1,948	1,948	31,283		81,603
R19	5,259	30,212	521	5,280	3,699	2,174	1,946	1,946	30,966		82,003
R20	5,207	33,080	516	5,273	3,662	2,380	1,943	1,943	30,655		84,659
R21	5,154	32,751	511	5,775	3,625	2,357	2,128	2,128	30,342		84,771
R22	5,100	32,407	505	5,715	3,587	2,332	2,106	2,106	30,019		83,877
R23	5,048	32,082	500	5,659	3,550	2,309	2,085	2,085	29,708		83,026
R24	4,992	31,727	494	5,596	3,511	2,283	2,062	2,062	29,377		82,104
R25	4,939	31,396	489	5,538	3,474	2,259	2,041	2,041	29,062		81,239
R26	4,886	31,060	484	5,480	3,436	2,235	2,019	2,019	28,744		80,363
R27	4,832	30,723	472	5,421	3,398	2,211	1,998	1,998	28,392		79,445
R28	4,757	30,387		5,362	3,353	2,187	1,976	1,976			49,998
R29		30,027		5,304		2,126	1,955	1,955			41,367
R30				5,245			1,929	1,929			9,102
合計	93,818	589,442	9,499	102,982	66,026	42,497	38,023	38,023	557,564	108,582	1,646,455

第 5 章 収支の見通し

収支の推計（指定管理事業）

これまで述べてきた様々な取組や施設整備が計画どおり推進されることを前提とした、来場者数及び指定管理事業（索道事業）の収支の計画は以下のとおりです。

（人／千円）

	決 算	予 算	推 計			
	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
来 場 者 数	122,101	123,000	124,230	125,472	126,727	127,994
収 入	424,640	360,347	434,805	439,153	443,545	447,980
支 出	337,157	349,967	362,916	376,344	390,269	404,709
収 支	87,483	10,380	71,889	62,809	53,276	43,271
基金積立額	8,570	88,500	78,300	84,600	78,300	78,300
基金取崩額	9,859	0	595	29,896	59,959	92,443
基金残高	16,139	104,639	182,344	237,048	255,389	241,246

※基金積立額は指定管理事業、自主事業、利便事業の各収支の一部の合計額

※基金取崩額は毎年度の地方債元利償還金相当額

〈来場者数〉

令和 7 年度以降の来場者数については、平成 30 年以来過去最高値となった令和 6 年度の実績と同水準を想定した計画とします。

〈収入〉

令和 6 年度に実施した利用料金の見直し後の『1 人当たり単価』×『各年度の来場者数』で計画値を算出しています。

なお、今後、条例で定める範囲内でリフト料金に変更になった場合には、収支見通しの見直しを行います。

〈支出〉

近年の人件費や物価の高騰を踏まえ、令和 6 年度決算額と比較した令和 7 年度予算の増加率を基に計画値を算出しています。

〈カムイスキーリンクス施設整備基金〉

リンクスの施設整備に必要な経費の財源に充てるため、ふるさと納税を通じた全国の皆様からの寄附や、リンクスの運営において、収支に余剰が生じた際に指定管理者から納付される納付金を積み立てるカムイスキーリンクス施設整備基金を造成しています。

令和 7 年度以降の積立額については、ふるさと納税や利便事業からの積立額は令和 6 年度の実績と同程度とし、索道事業及び自主事業からの積立額は計画した収入額から算出しました。

前章で述べた施設の改修費や地方債の償還財源として活用するため、一定額を取り崩すものとします。

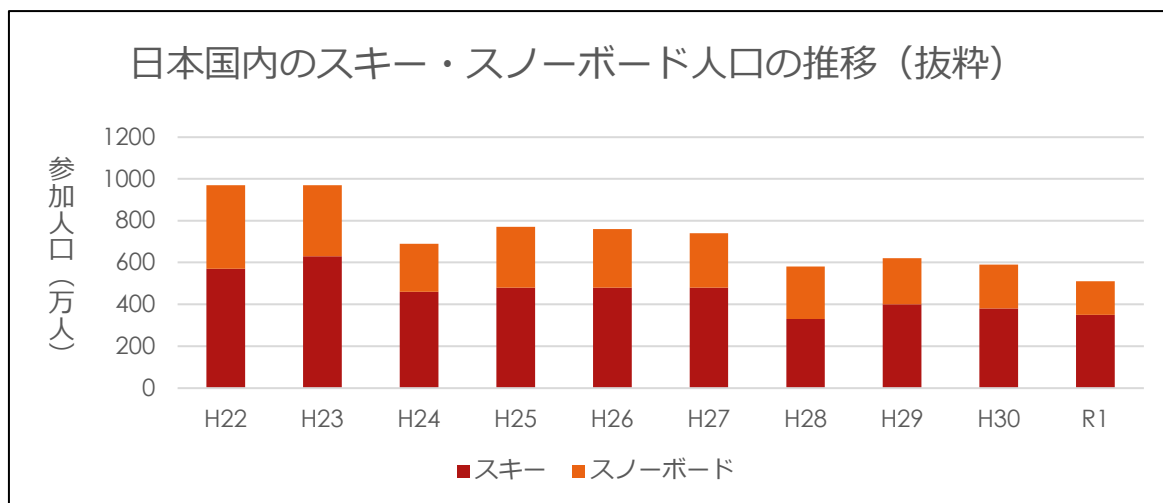
(参考) 計画策定に向けた各種調査結果

1 委託調査の結果

基本計画を策定するために令和5年度に委託して実施した調査結果を整理します。なお、いずれも調査も新型コロナの流行前である令和元年度までの数値を反映しています。

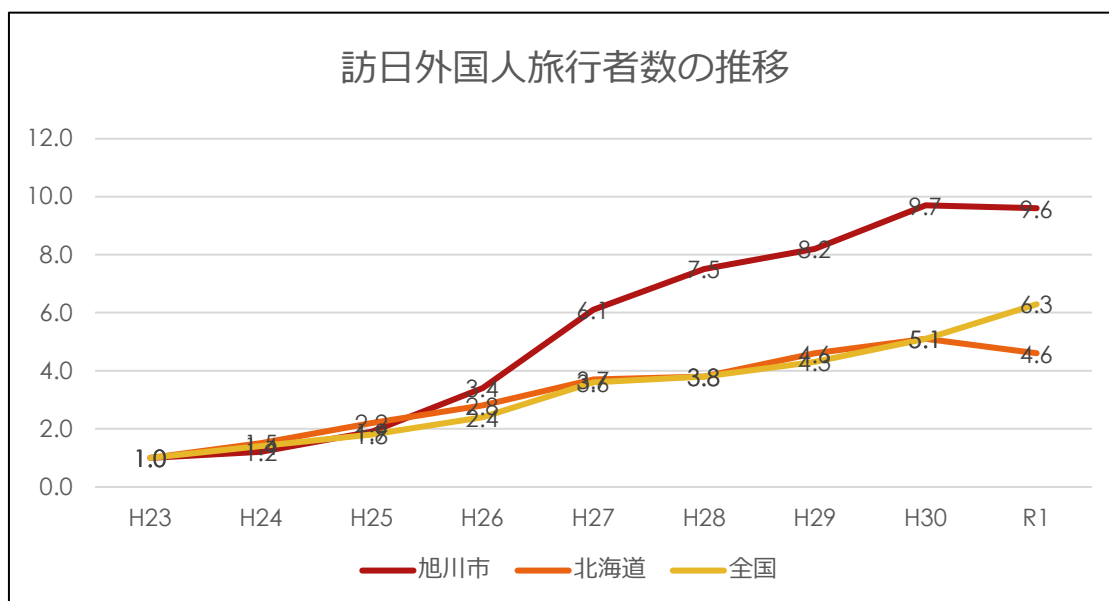
(1) 各分析結果（抜粋）

ア 日本国内のスキー・スノーボード人口の推移（参考）



国内のスキー・スノーボード人口は減少傾向にあることが示されました。

イ 訪日外国人旅行者数の推移



平成23年に東日本大震災が発生した影響により、訪日外国人旅行者数は一旦減少しました。この年を基準としてそれ以降の増加の割合を示したのがこの図になります。新型コロナウイルスが流行し、移動に制限がかかる直前の令和元年度時点では、本市は北海道だけではなく全国を上回る増加を示していたことがわかります。

(2) 各分析結果から示されたリンクスが目指すべき姿

ア インバウンド利用を呼び込む道北随一のスノーリゾート

- ・スキー・スノーボード人口が減少する中で、インバウンド利用者を呼び込み、稼げる施設づくりを目指す
- ・インバウンドを重視する雪質の良さをアピールするとともに、コースの充実、スキー以外のアクティビティの充実が求められる

イ 地域のスノースポーツ・レクリエーションの振興・発展のための拠点施設

- ・学校授業や地域住民が利用しやすい料金体系の構築
- ・サービスデーの実施
- ・パラスポーツの利用等

(3) 目指すべき姿を実現するために強化すべき機能

調査委託先からは、目指すべき姿を実現するために強化が必要であると思われる機能が示されました。その中には、すでに本市で取組をはじめたものも含まれていたため、ここではまだ着手していない、あるいは不十分であると思われる取組についてお示しします。

ア 第5リフトエリアの魅力向上

- ・第5リフトが設置されているエリアは、未圧雪コース、ツリーランコースが多く、上級者やインバウンドの人气が高い
- ・リフトの改修と合わせて、コースの魅力向上、充実を強化する取組を行うことで、集客力の向上につながる

イ バリアフリー環境の整備

- ・センターハウスなどには、エレベーター等の昇降機がない
- ・本市がパラスポーツなどの取組を進めるにあたっては、バリアフリー環境の整備が必要である

ウ 通年での集客機能の強化

- ・グリーンシーズン（4～11月）の施設有効活用が必要
- ・山頂からマウンテンバイクで走行するツアーやジップラインなどのアクティビティの新設
- ・夏季イベントの誘致

(4) 調査結果の総括

国内のスキー・スノーボード人口が減少する中で、良好な雪質を誇るカムイスキーリンクスは、外国人訪日旅行者にとっては魅力的な観光施設であるにとらえられている。良質な雪を求めて訪れる外国人旅行者に対しては、そのニーズに応えられるようなコースの整備が求められます。

また、市民のスポーツ拠点としての機能を考えると、サービスデーの実施やグリーンシーズンの施設活用、バリアフリー化など取組を行う余地がまだ残されています。

2 利用者アンケートの結果

基本計画の策定に当たり、利用者を対象としたアンケート調査を実施しました。ここでは、調査結果を整理して課題の抽出を試みます。

調査期間	令和7年2月7日（金）から3月31日（月）まで
実施方法	インターネットを利用して実施
実施場所	センターハウス2階 ラーメンハウス 休憩所 山頂レストハウス
回答数	264件

(1) 結果の概要

質問	選択肢	回答数	割合
性別	男性	169	64%
	女性	93	35%
	回答しない	2	1%
年代	10代	13	5%
	20代	9	3%
	30代	28	11%
	40代	66	25%
	50代	81	31%
	60代以上	67	25%
居住地	市内	49	19%
	上川・空知圏内	36	14%
	市内、上川・空知圏外の道内	46	17%
	道外	120	45%
	海外	13	5%
リンクスを選んだ理由 (複数回答可)	距離が近い	91	34%
	リフト料金が安い	82	31%

	コース数が多い	149	56%
	雪質が良い	171	65%
	設備が良い	58	22%
	口コミが良い	32	12%
	特にない	4	2%
	その他	48	18%

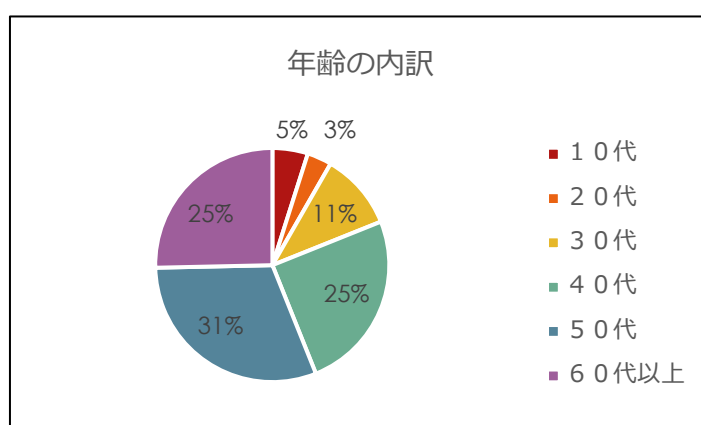
質問	選択肢	回答	割合
来場者の構成人数	1名	73	28%
	2名	96	36%
	3名	36	14%
	4名以上	59	22%
シーズン中の利用回数	1～5回	183	69%
	6～10回	37	14%
	11～20回	22	8%
	21～30回	12	5%
	40回以上	10	4%
センターハウスの評価	非常に良い	46	17%
	良い	121	46%
	普通	76	29%
	悪い	13	5%
	非常に悪い	4	1%
	利用していない	4	2%
ラーメンハウスの評価	非常に良い	37	14%
	良い	69	26%
	普通	64	24%
	悪い	7	3%
	非常に悪い	1	0%
	利用していない	86	33%
山頂レストハウスの評価	非常に良い	29	11%
	良い	73	28%
	普通	59	22%
	悪い	7	3%
	非常に悪い	0	0%
	利用していない	96	36%

ゴンドラ・リフトの評価	非常に良い	55	21%
	良い	103	39%
	普通	90	34%
	悪い	13	5%
	非常に悪い	0	0%
	利用していない	3	1%

(2) 回答の整理

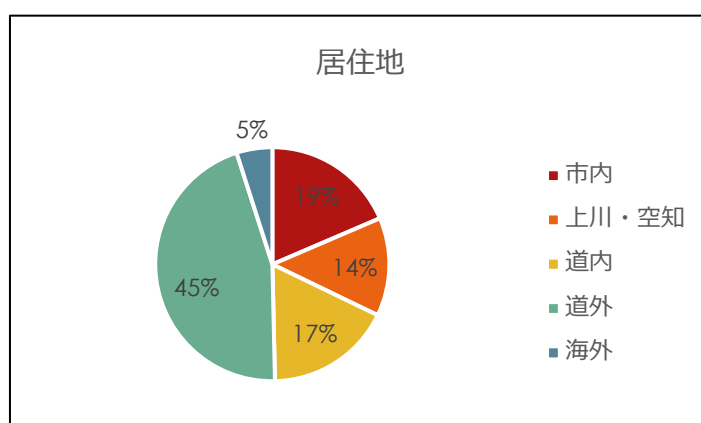
(2) - 1 利用者の状況

ア 回答者の年齢



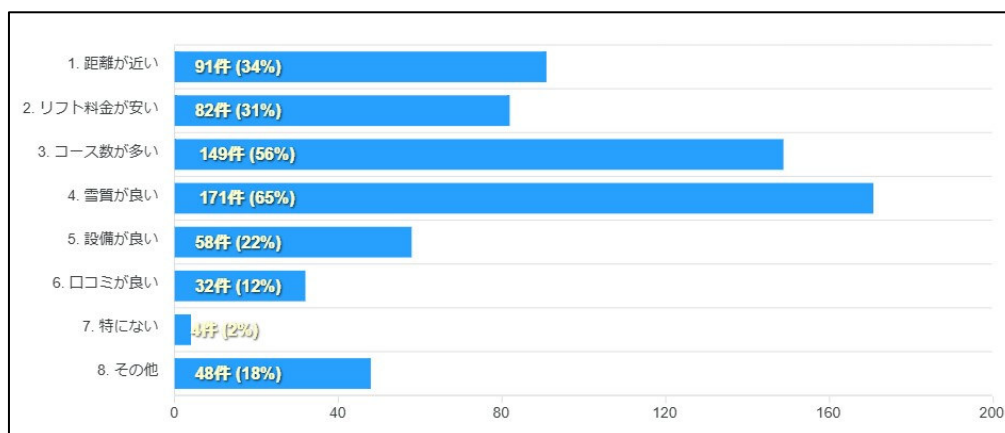
50代の方を中心に、40代、60代の方々の回答が多かったです。

イ 居住地



道外在住の方の回答が45%で最も多かったです。市内在住の方からの回答は19%でした。

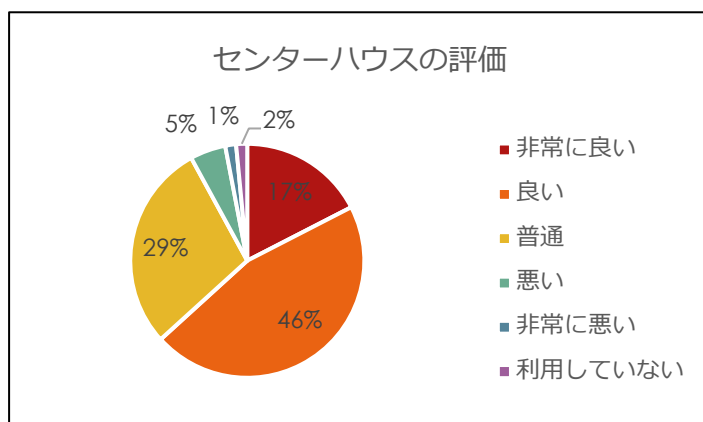
ウ カムイスキーリンクスを選んだ理由（複数選択可）



カムイスキーリンクスを選んだ理由として最も多かったのは、「雪質が良い」（65%）という回答でした。次いで「コース数が多い」（56%）が多かったです。

(2) - 2 施設の評価

ア センターハウスに対する評価



「良い」と評価した人が46%で最も多く、「非常に良い」と合わせると63%になりました。一方で、5%の人が「悪い」。1%の人が「非常に悪い」と回答しました。

改善面については、次の表のとおり御指摘をいただきました。

【改善した方がよい点】※抜粋

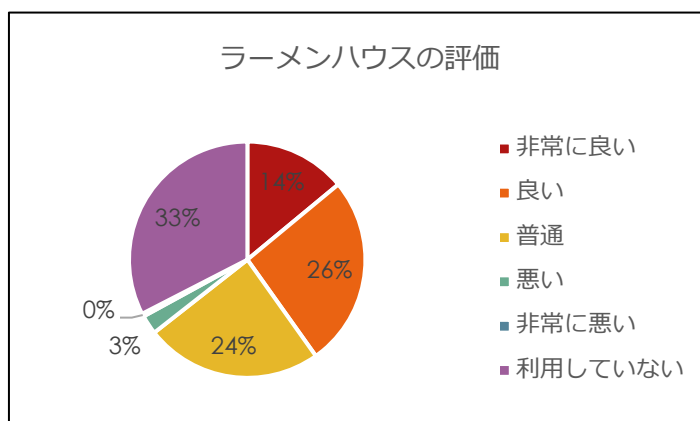
レンタルウェアの試着室が狭い

休憩できる場所が少ない

券売機が少ない（同意見多数）

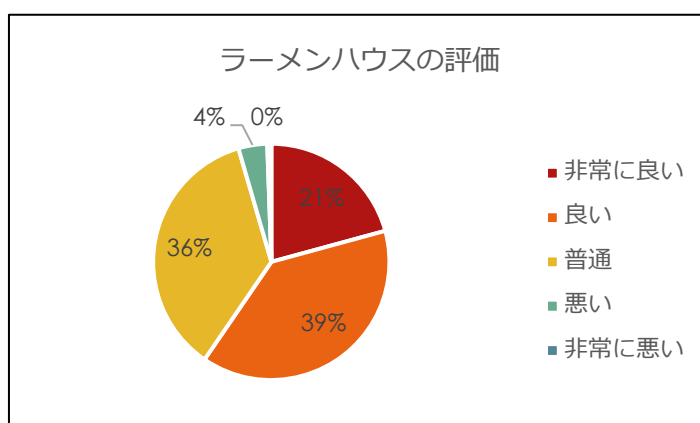
食堂のイスとテーブルが座りにくい
一階に休むところを作ってほしい
混みすぎで居心地が悪い

イ レストハウス（ラーメンハウス）に対する評価



レストハウス利用者のうち、「良い」と回答した方が26%で最も多く、「非常に良い」と合わせると40%になりました。一方で、「悪い」と回答した方は3%でした。

なお、利用者の評価のみを示すと次のとおりになります。

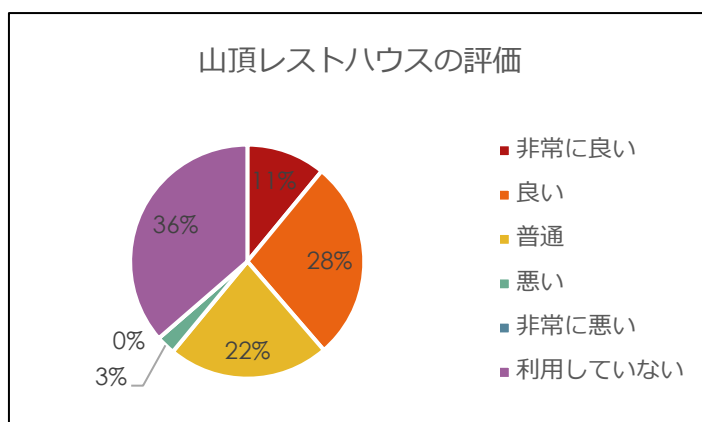


改善面については、次の表のとおり御指摘をいただきました。

【改善した方がよい点】※抜粋

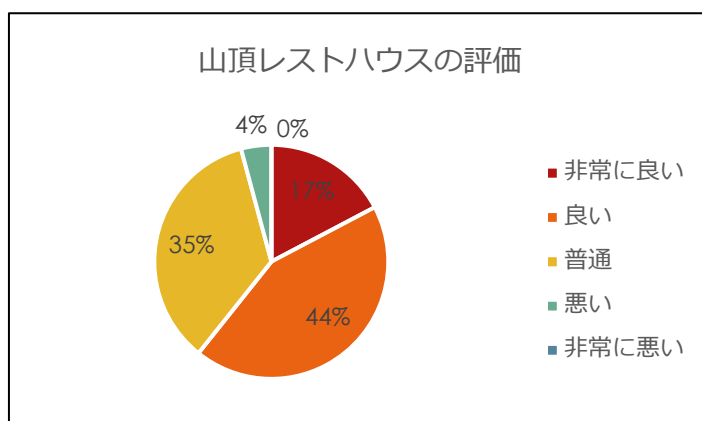
レストハウスのテーブルにヘルメットハンガーを着けてほしい
開く時間が遅すぎる。休憩所として使いづらい
設備が古くて改良できても良いかと感じた
食券を買ってから、料理の受取りまでの流れ

ウ 山頂レストハウスに対する評価



山頂レストハウス利用者のうち、「良い」と回答した方が28%で最も多く、「非常に良い」と合わせると39%になりました。一方で、「悪い」と回答した方は3%であった。

なお、利用者のみの評価を示すと次のとおりになります。

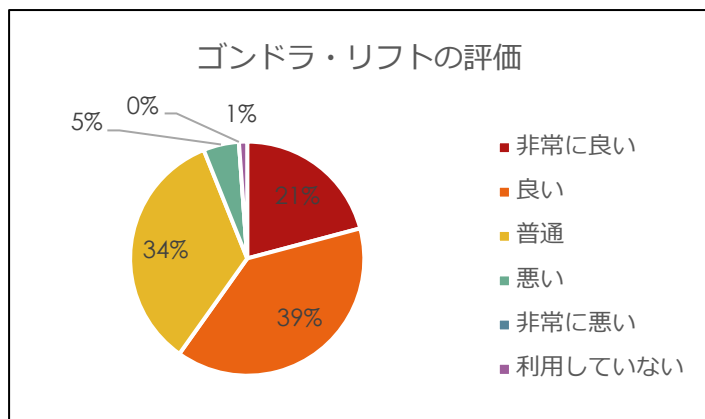


改善面については、次の表のとおり御指摘がありました。

【改善した方がよい点】

水がない
テーブルにヘルメットハンガーを付けてほしい
トイレに行くのが不便
山頂レストハウスのトイレの床は非常に滑りやすく危険と思います

エ ゴンドラ・リフトに対する評価



「良い」と回答した方が39%で最も多く、「非常に良い」と合わせると60%に達しました。一方で、「悪い」と回答した方は5%でした。

改善面については、次の表のとおり御指摘をいただきました。

【改善した方がよい点】※抜粋

ゴンドラのサイズを大きくしてほしい（同意見多数）
リフトにフードがほしい（同意見多数）
リフトのスピードが遅い（同意見多数）
リフトに安全バーがほしい（同意見多数）
スピードが遅い

エ 施設・設備全体に対する意見

【その他全体に対する意見】※抜粋

危険な滑走をなんとかしてほしい
WEBリフト券の予約がわかりにくい
急斜面にコブ練習用のコースを作してほしい
第5リフト下のトイレは令和の世のものとは思えない、要改善
ボックスとかのスノーパーク、バンクドスラロームと、遊べるアイテムがほぼ無い
初心者コースがたくさんあるとHPで見たのですが、案内がわかりづらいです
白樺コースを滑走できる日が少なすぎる
館内に表示が少なく、WEBで買ったリフト券の発券機を見つけるのが難しかった
場内に流れている音楽いつもワンパターンでつまらない
レストランに道産食材を使用したメニューが増えるといい
食事できあがりのアナウンスを英語でもやったらどうか
駐車場からの坂道が急で滑りやすい

スキーバス、朝 1 番のバスが混みすぎ
リフト、ゴンドラの終了時間を延ばしてほしい
チケット代の割にパークもないし雪質だけに頼りすぎていると感じる
両替機がほしい
ベジタリアンメニューがほしい
ナイター設備あるとうれしい

(3) アンケート結果の総評

各施設の利用者の半数以上は、「非常に良い」又は「良い」という回答でした。しかし一方で、改善点に対する意見も多く寄せられました。

簡単な工夫によって改善できそうなものもあれば、改修・修繕を要するものもありました。また、来場者の増加が起因していると思われる課題やサービス面に関する指摘も多数いただきました。

3 関係者への聞取

(1) レストハウス（ラーメンハウス）関係者への聞取結果

建物に隙間風が吹き込み、スキーウェアを脱げずに食事する方を見かける
暖房機器は家庭用のものが2台あるのみで不十分
室内の断熱性能が低い。以前雨漏りがあった天井部分が原因ではないか
厨房などの壁の損傷、老朽化が激しい
男女ともにトイレの調子が悪い
電波状況が悪く、電子決済を行う際に上手くいかないことがある
床がコンクリートむき出しのため転倒のリスクがある

(2) 山頂レストハウス関係者への聞取結果

窓からの隙間風がある
シンクから若干の漏水がある
使用できない照明器具、換気扇がある
1階にトイレがあるが、非常に滑りやすく転倒のリスクがある

(3) 関係者への聞取結果の総評

センターハウス外の2つの施設の関係者に聞取りを行ったところ、いずれの施設でも故障や老朽化などが生じている状況を把握しました。また、いずれの施設でも利用者の転倒リスクが生じており、対策を講じていく必要があります。